

2016年度

第5回運営会議 (公開学習会)

戦後の消費者運動は、物価や公共料金引き上げへの反対、商品の安全性や品質についての申し入れに始まり、多くの課題について成果を挙げてきました。1990年代のPL法制定運動以降は政策提言型運動が進展し、国や地方において様々な消費者関連法・条例や消費者行政の充実強化が進み、2009年には消費者庁・消費者委員会が設置されるに至りました。近年では市場の監視役として、事業者の消費者志向経営を促進させる役回りとしての期待も高まっています。

他方、消費者団体の現状は、人材の固定化・高齢化、財政難など組織課題は依然として深刻な状況にあります。今後、消費者運動のこれまでの成果をどのように次世代につないでいけるか、参加者の皆さんで考えあいたいと思います。

【日時】12月15日(木) 13:15~15:15

【場所】主婦会館プラザエフ5階会議室

【テーマ】消費者運動のあゆみと継承

【内容】

《講演1》

不良マッチ追放運動等の戦後の消費者運動の歩み～
PL法制定運動

清水鳩子さん(一財)主婦会館理事長、元主婦連合会会長)

《講演2》

食品安全行政強化、「21世紀型消費者政策」、消費者庁成立期における
消費者団体の政策提言の取り組み

品川尚志さん(元日本生協連専務理事)

《意見交換》

消費者運動を次世代につなぐには

○会場地図

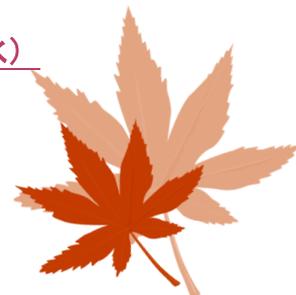


12月運営会議

テーマ：消費者運動のあゆみと継承

日時 12月15日(木) 13:15~15:15
場所 主婦会館プラザエフ5階会議室

申し込み締め切り：12 / 7 (水)



参加申込書

団体名	連絡先(TEL)

参加者名

※お預かりいたしました個人情報には責任をもって管理し、本運営会議の目的外には使用いたしません